

(2020 法後)

小論文

- ・問題は1～20ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に横書きで記入しなさい。

小論文 250点

問題文

近年、ビッグデータに基づいて個人の行動を予測する試みが行われている。他方でそれに伴う様々な問題についても議論が進められてきている。

以下の資料【1】～【4】を読み、これらの資料のすべてに基づいて、ビッグデータによる予測の活用がもたらす効用と脅威について、それが誰に対して、どのような影響を与えるものであるかを明示しながら、1000字以内でまとめなさい。

解答を作成するにあたっては、どの資料によったかを資料の番号を示して明らかにしなさい。資料番号は、【 】も含めて1マスで示せばよいものとする。

なお、使用した資料に付記してあった注や表、参考文献などは一部省略し、必要と思われる箇所には注の付記、表記の変更を行った。資料【1】～【4】にある下線部は、注を付記した箇所を表す。

【1】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

(出典：照井伸彦『ビッグデータ統計解析入門』日本評論社，2018年)

〔注〕

- ・ POS(Point of Sales)データ：スーパーやコンビニエンスストアなどの小売店で商品が販売された時点で得られるデータ。
- ・ 誘因：ある作用を引き起こす原因，インセンティブ。

【2】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、 問題は掲載していません。

(出典：山本龍彦「AIと憲法問題」、山本龍彦編『AIと憲法』日本経済新聞出版社、2018年)

[注]

- ・ AI(Artificial Intelligence)：人工知能。コンピュータを使って、学習・推論・判断など人間の知能のはたらきを人工的に実現したもの。
- ・ プロファイリング：過去の行動にかかわるさまざまなデータベースを活用して、特定の個人についての未知の情報の予測・分析を行うこと。
- ・ フィード：ウェブサイト、特にブログやニュースサイトなどのコンテンツの概要もしくは全体を配信すること。
- ・ 与信：資金を貸し付けたり、支払いを猶予したりする行為。
- ・ 機械学習：コンピュータがデータから反復的に学習を行い、データに潜むパターンを見つけ出すこと、さらにそのパターンについての理解をもとに予測をコンピュータに行わせること。

- ・ラベリング：ラベルを貼ること。特殊な事実をもとに，ある人物やものごとの評価を固定的に定めること。
- ・フラグ：何らかの条件を満たしたことを示すしるしのこと。
- ・アルゴリズム：プログラムを作るときに用いる，問題を解決するための手順・計算方法。

【3】

著作権保護の観点から，
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、 問題は掲載していません。

(出典：古谷貴之「AIと自己決定原理」、山本龍彦編『AIと憲法』日本経済新聞出版社、2018年)

[注]

- ・ターゲティング：製品を市場に投入する際、どのような集団(セグメント)を買い手として標的とするか決めること。
- ・キャス・サンスティーン(Cass R. Sunstein)：アメリカの法学者、ハーバード大学ロースクール教授。
- ・ライアン・カロ(Ryan Calo)：アメリカの法学者、ワシントン大学ロースクール教授。
- ・一瞥：ちらっと見ること。
- ・惹起：何かを引き起こすこと。

【4】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

(出典：山本龍彦『おそろしいビッグデータ』朝日新聞出版，2017年)

〔注〕

- ・イーライ・パリサー(Eli Pariser)：アメリカの政治活動家，インターネット事業家。
- ・フィルタリング：インターネットのウェブページなどを一定の基準で評価判別し，選択的に排除する機能のこと。
- ・ポータルサイト：インターネットの入り口(ポータル)となるウェブサイトのこと。
- ・ブレグジット(Brexit)：イギリス(Britain)のEUからの離脱(Exit)のこと。
- ・リップル効果：波及効果，連鎖反応が生じること。
- ・マーク・ザッカーバーグ(Mark Zuckerberg)：アメリカの企業フェイスブックの創業者。
- ・GM(General Manager)：特にアメリカのプロスポーツで重要な役職で，チームの編成や方針の決定，選手の選定や契約など多岐にわたる権限を有している者。
- ・情実選挙：社会的に重要だとされる政策などではなく，個人的な利害や感情などを理由とする投票が支配的な選挙のこと。